薬物乱用とは、ルールや法律から外れた目的や方 法で使用することをいいます。

覚醒剤や麻薬などは1回使用しただけでも乱用に



ても再燃(フラッシュバック) こともある。乱用を続けると、 ほか、死に至る。 することがある。大量に摂取 学習能力の低下、記憶障害、



大麻(マリファナ)

人格変化を起こす。



コカイン

幻覚や妄想が現れ、中毒性精 知覚を変化させ、恐慌状態(い 幻覚や妄想が現れる。大量に 知覚を変化させ幻覚が現れる 神病になりやすい。使用をやめ わゆるパニック)を引き起こす 摂取すると全身痙攣を起こす ことがある。大量に摂取する



と高体温になり、死に至る。



状態が続き、体温・心拍数の 死に至ることもある。 上昇、頻脈や散瞳等の症状が 出てくる。その幻覚症状が原因 で精神錯乱や異常興奮になる。





微量でも使用すると幻覚症状 険な物質を含んでおり、呼吸 用として用いられているが、 幻覚や妄想が現れて、薬物精 が表れ、気分が高揚し、不眠 困難や異常行動を起こしたり、 乱用されると精神及び身体へ 神病になり、大量に摂取する り、思考、感覚及び行動に異



障害を与える。また、依存によ と呼吸困難となり、死に至る。



薬物は、別の呼び名で 呼ばれている場合が あります

…… エス、氷、スピード、アイス、シャブ

常をきたす。

● 大麻 ··············· ハッパ、グラス、チョコ、クサ、野菜 ● MDMA (錠剤型合成麻薬) … エクスタシー、バツ (「×」、「罰」)、タマ (「弾」、「玉」)

………… ペー、チャイナホワイト、ジャンク ▶ コカイン …………… コーク、スノウ、クラック、チャーリー、チャリ、自転車

● シンナー ……… アンパン

写直提供元: 厚生労働省

大会宣言

麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物は、いったん 手を染めてしまうと、自分の意思だけではやめることができず、 心も体もボロボロになってしまいます。

また、薬物の乱用は本人を傷つけるだけでなく、家族や周り の大切な人たちも巻き込み、幸せを奪ってしまいます。

私たちは普段、自分と薬物は関わりのないものと思いがちで すが、スマートフォンや SNS などが普及した今、薬物の情報 や誘惑が、私たちの生活の身近なところにまで迫っています。

薬物乱用のない社会にするため、また、薬物に苦しむ人々を 一人でも減らすため、私たち一人一人が、どんな誘いにも「ダメ。 ゼッタイ。と断る勇気と正しい知識を持ち、学校、家庭、地域 が一体となって薬物問題に取り組むことが大切です。

私たちは、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を合い言葉に、身 近な地域社会から運動の輪を広げ、薬物乱用のない安全で明 るい社会を目指して、積極的に活動していくことを宣言します。

令和4年11月26日

麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動 石川大会 宣言者 ガールスカウト石川県連盟 教育国際委員会 委員 小島 笑子

ダメ。ゼッタイ。

麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグの乱用をなくそう

麻藥·覚醒剤·大麻 乱用防止運動



全章 **全和 1 1 月 2 6 日** (土) 13:30~ 16:00

ところ石川県文教会館ホール

後援/金沢市、(公社)石川県薬剤師会、石川県保護司会連合会、ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区、 (公社)石川県医薬品登録販売者協会、石川県更生保護女性連盟、石川県 BBS 連盟、日本ボーイスカウト石川県連盟、ガールスカウト石川県連盟、 石川県医薬品配置協議会、(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

210mm 210mm

大会次第

記念コンサート

遊学館高等学校吹奏楽部

- 開会のことば 厚生労働省東海北陸厚生局麻薬取締部長
- 主催者挨拶 厚生労働大臣 石川県知事
- ■来 賓 祝 辞

■表 彰 厚生労働大臣感謝状受賞者 ···················· 伊 藤 茂 厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状受賞者 ··· 木 戸 千 加 小松青雲ライオンズク 石川県知事感謝状受賞者 ··· 大 洞 敬 ニ 加 藤 敦 子 松 代 暢

■大会宣言 ガールスカウト石川県連盟

教育国際委員会委員 ……………………… 小 島 笑 子

and the second second

特別議演

演題 スマホと SNS が薬物売買の全てを変えた! <激変する薬物事情の今を知る>

講師 瀬戸晴海氏 国際麻薬情報フォーラム 副代表理事

大阪税関監視部麻薬探知犬管理室

一麻薬探知犬によるデモンストレーション

会

■ 閉会のことば 石川県薬物乱用防止指導員協議会会長 …… 村 田 世里子

特別講演



スマホとSNSが 薬物売買の 全てを変えた!

<激変する薬物事情の今を知る>

国際麻薬情報フォーラム副代表理事 (元関東信越厚生局麻薬取締部長)

瀬戸晴海氏(せと・はるうみ)

経歴

明治薬科大学卒業 (薬剤師)。1980 年に厚生省麻薬取締官事務所 (現・厚生労働省麻薬取締部:通称マトリ) 入所。横浜分室長、沖縄支所長、中国・四国、九州麻薬取締部長などを歴任し 2014 年に関東信越厚生局麻 薬取締部長に就任。2018 年 3 月同部を退官。現在、(一社) 国際麻薬情報フォーラム、(一社) 日本薬物問題 研究所において薬物問題の調査研究に従事。

専門は、薬物組織犯罪捜査、薬物動向の調査・分析。

著書に「マトリ 厚労省麻薬取締官 (新潮社、2019)」「スマホで薬物を買う子どもたち (新潮社、2022)」







遊学館高等学校吹奏楽部

創部 91 年を迎える遊学館高校吹奏楽部は、年間を通して様々なコンサート・イベント、また同校野球部・サッカー部の応援演奏、幼稚園・小中学校での音楽鑑賞教室や福祉施設への訪問演奏など、積極的に活動の幅を広げています。コンクール活動では、石川県代表として出場している北陸吹奏楽コンクールでは10年連続出場、また全日本アンサンブルコンテストやマーチングバンド全国大会には北陸代表として5回出場しています。2018 年、韓国釜山で行われた、「東アジア文化都市 2018」に招待され、初の海外公演を行いました。美しく色彩豊かなサウンドは県内外から高い評価を得ています。





麻薬探知犬は、増大する麻薬類の密輸入を防止する目的で導入されたもので、税関では昭和 54 年 6 月 に米国税関の協力を得て麻薬探知犬 2 頭を導入したのが始まりで、現在では全国の税関に約 130 頭の麻薬 探知犬が配備されています。

麻薬探知犬は、全国の税関で入国旅客の携帯品及び外国郵便物等の輸入検査等に活用されており、導入 以降、大量の覚醒剤、大麻等の不正薬物の摘発に貢献しています。

今回は、麻薬探知犬によるデモンストレーションを披露いたします。